

はじめに

本報告書は、平成 23(2011)年度における我が国の公的年金の財政状況を取りまとめたものである。

社会保障審議会年金数理部会は、「被用者年金制度の安定性及び公平性の確保に関し、財政再計算時における検証及び毎年度の報告を求めること」及び「被用者年金制度の一元化の具体的な措置が講じられる際の具体的な費用負担の在り方等について年金数理的な観点からの検討及び検証」を行うことなどのため設置されている。

年金数理部会では、これまで毎年、公的年金各制度の財政状況について制度所管省に報告を求め、その財政状況を専門的な観点から分析・検討するとともに、財政を見る上で必要となるデータや将来の財政再計算等で考慮すべき事項について指摘してきた。また、平成 23(2011)年 3 月には、公的年金各制度の平成 21 年財政検証・財政再計算に基づいて、年金制度の安定性、公平性に関して検証したところである。これらの内容については、部会議事の公開、報告資料や議事録の厚生労働省ホームページへの掲載等を通じて、国民に広く提供してきた。

本報告では、平成 23(2011)年度の財政状況の報告をもとに、各制度の財政状況を横断的に一覧できるようにまとめ、年金財政の仕組みやこれまでの経緯などをわかりやすく解説した上で、平成 21 年財政検証・財政再計算との比較により、各制度の財政状況を分析・評価している。

本報告書が公的年金の財政状況理解の一助となり、ひいては年金制度に関する議論に資することができれば幸いである。

